＊５月の子育てひろば＊

1（金）ぴょんぴょんクラブ　いっしょにあそぼ♪　10:00～11:30
　氷上子育て学習センター
2（土）おはなしなぁ～に？　10:30～11:00　春日子育て学習センター
9（土）おひさまのおはなし会　10:30～11:00　ゆめわあく柏原
14（木）ひまわりサロン　10:00～11:30　春日子育て学習センター
14（木）ひよこクラス　はじめまして　ひよこデビュー　10:00～11:30
　山南住民センター　ちーたんルーム
15（金）のびのびカフェ　10:00～11:30　青垣子育て学習センター
15（金）わかば教室　絵本講座　10:00～11:30　ライフピアいちじま
19（火）ベビーマッサージ＆子育て相談会
　対象：平成26年4月～平成27年3月生まれの乳幼児とその保護者
　10:00～11:30　ゆめわあく柏原
20（水）子育て相談　10:00～11:30　春日子育て学習センター
21（木）氷上・青垣合同交流会　10:00～11:30　青垣住民センター　アリーナ
26（火）氷上・青垣合同交流会　雨天順延　10:00～11:30
　青垣いもっこ農園
28（木）ママＳＵＮ講座　10:00～11:30　青垣子育て学習センター
29（金）子育てふれあい広場　春の野外活動　10:00～11:30
　春日総合運動公園周辺
29（金）わかば教室　リフレッシュ講座　10:00～11:30　ライフピアいちじま

♪柏原子育て学習センター☎72－4747
♪氷上子育て学習センター☎82－1001（代）
♪青垣子育て学習センター☎87－1919
♪春日子育て学習センター☎74－3040
♪山南子育て学習センター☎77－3160
♪市島子育て学習センター☎85－3030（代）

5月 MAY（皐月）

こどものひろば

＊対　象
幼＝幼稚園　小＝小学生
低＝低学年　中＝中学年

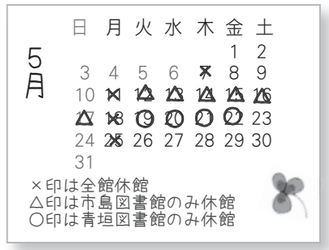
＊おはなし会＊

♪中央図書館☎82－7100
9（土）　10:30　幼児
12（火）　10:30　幼児
16（土）　11:00　小学生
23（土）　10:30　幼児
♪柏原図書館☎72－0313
16（土）　10:30　幼児～小低
※柏原住民センター２階和室
♪青垣図書館☎87－1111
16（土）　11:00　幼児～小低
♪春日図書館☎74－1611
16（土）　10:30　幼児～小低
※春日住民センター２階視聴覚室
♪山南図書館☎77－0336
9（土）　10:30　幼児～小低
15（金）　10:30　幼児
23（土）　10:30　幼児～小低
※山南住民センター２階和室
♪市島図書館☎85－2733
9（土）　11:00　幼児
23（土）　11:00　小学生

＊児　童　館＊

♪こうがやま児童館　☎82－8620
16日（土）絵画教室　9:30（小学生）
21日（木）いっしょにあそぼう　10:30（乳幼児）
23日（土）英語であそぼう　9:30（小学生）
25日（月）トトロ　10:30（乳幼児）

♪しろやま児童館　☎82－0843
11日（月）トトロ　10:30（乳幼児）
16日（土）作ってあそぼう　9:00（小学生）
23日（土）お茶席　9:30（小学生）



5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	×	8	9
10	×	△	△	△	△	×
△	×	○	○	○	○	23
24	×	26	27	28	29	30
31						

×印は全館休館
△印は市島図書館のみ休館
○印は青垣図書館のみ休館

問中央図書館☎82－7100

＊ベストリーダー情報＊（２月１日～３月25日）

［一般書］

順位	本の名前	作　者
1	明日の子供たち	有川　浩
1	フォルトゥナの瞳	百田尚樹
3	遺譜　上	内田康夫
3	山女日記	湊かなえ
5	破門	黒川博行

［児童書］

順位	本の名前	作　者
1	ぐりとぐら	中川李枝子／さく
1	パムとケロのさむいあさ	島田ゆか／作・絵
1	ぽとんぽとんはなんのおと	神沢利子／さく
4	くろねこさんしろねこさん	得田之久／ぶん
4	春になったらあけてください	増井邦恵／作

＊予約ランキングベスト５＊（３月13日現在）

［一般書］

順位	本の名前	作　者
1	白鶴ノ紅	佐伯泰英
2	失意ノ方	佐伯泰英
3	サラバ！　上	西加奈子
4	サラバ！　下	西加奈子
5	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L.スコット

［児童書］

順位	本の名前	作　者
1	ベイマックス	
1	妖怪いじわるひょうしき	土屋富士夫／作・絵
3	あの世レストラン	たかいよしかず／絵
3	はるですよ	柴田晋吾／さく
3	いちねんせいのいちにち	おかしゅうぞう／さく

＊おすすめ図書＊

＊一般書
『鳥獣害ゼロへ！－集落は私たちが守るッ－』
日本農業新聞取材班／著　こぶし書房〔2014.10〕

野生動物による農業被害は年間200億円以上。最強の武器は人間の団結だった!対策に工夫をこらし、鳥獣害を大幅に減らすことに成功した地域の事例を紹介。作物収穫時期を前にぜひ対策を!狩猟免許やわなの技術、欧州事情などにもふれられていて、読み物としてもおもしろい。「日本農業新聞」連載を中心に単行本化。

＊児童書
『がたん ごとん がたん ごとん ざぶん ざぶん』
安西水丸／さく　福音館書店〔2012. 5〕

４カ月児検診時のブックスタート事業でおなじみの一冊「がたんごとんがたんごとん」の続編。小さな黒い機関車といろんなお客さん、さてどこにいくのかな？　０歳から赤ちゃんも本が読めます。読んでくれる人の声と言葉の響きを心地よく感じ、大好きになります。ページも厚手のものが多く小さな指でもめくれるので、そのうち自分で読みはじめます。「がたんごとん」と、大人もつい口癖になって…。言葉の繰り返し、場面の繰り返しがおもしろい絵本。

図書館サポーター養成講座

■とき / ①５月30日（土）・②６月13日（土）
　午後１時30分～４時（予定）
■ところ / 中央図書館　視聴覚室
■対象 / 市内在住・在勤の18歳以上の方
※①②どちらかの講座を受講されたうえで、活動いただけるかご検討ください。
■申込方法 / ５月15日（金）までに中央図書館へお申し込みください。
申問中央図書館☎82－7100、FAX82－7200

子ども司書養成講座

■とき / ６月７日（日）～12月６日（日）【全７回】
　午前10時～12時
■ところ / 中央図書館　視聴覚室
■対象 / 市内在住の小学４～６年生【10人】
※全７回の講座のうち６回以上を受講し、課題を提出した受講者に認定証を交付します。
■申込方法 / ５月15日（金）までに中央図書館へお申し込みください。※受講料無料
申問中央図書館☎82－7100

ジュニア
丹波市の歴史
シリーズ
丹波の江戸時代①
年貢はどのように取られたか ～「年貢免定」をよむ（上）～

神戸大学大学院人文学研究科
非常勤講師　前田結城

今回から丹波市域の江戸時代の見方や調べ方について、数回にわたって説明していきたいと思います。第一回目は、「江戸時代において年貢はどのように取られたのか」というお話しです。

江戸時代は、人口の八割以上が百姓といわれる人々で占められていました。百姓は通常「村」という場所に住み、主に農業を営んで暮らしていました。村は百姓たちが支え合い、生きていくためのもっとも基本的な集団でした。しかし、同時に江戸時代の百姓たちは、武士（領主）といわれる人びとに支配されており、村はその武士たちが百姓を支配するための基本的な単位でもありました。ちなみに、江戸時代において村は、全国に約六万三〇〇〇あったとされ、一つの村の平均人口は約四〇〇人、同じく平均の面積はみなさんが通う学校の運動場五〇面分ぐらいだと考えてください。

今、「支配」についてふれましたが、百姓が武士の支配を受けていることを示す行為の一つとして、「年貢を納める」というものがあります。江戸時代の年貢は基本的に米であり、これが今でいう税金にあたります。では、年貢が取られる仕組みとは、どのようなものだったのでしょうか？　これは意外に大人でもあまり知らないと思います。

せっかくなので、ここでは実際に丹波市に残されている史料（歴史の事実を「発見」するための材料）をもとに、このことを確かめていきましょう。まず、毎年お米が収穫される時期になると、武士の中でも特に村の支配に関わる担当者から、村のすべての百姓とその代表者に対して、「年貢割付状」、もしくは「年貢免定」といわれるものが渡されます。左にその一例を記します。これについては次号で詳しく解説します。

大新屋村辰年免定の事
一、高五百二十一石一升　田・畑・屋敷とも
　　内
　　三石八升一合　　卯山崩れ
　　六十二石七斗三升九合　当日損皆無
　　五石四斗四升八合　畑方日損引き
　　しめて四百四十九合七斗四升二合
　　田畑上中下虫付き
　　この取り二百三十三石五斗九升
　　但し高に四つ四分〔　〕り
　　内九石六升は　　山役十成り
（次号につづく）